



平成30年7月豪雨を受けて

豪雨災害により、県内では29名もの尊い命を失うことになりました。衷心よりお悔やみ申し上げます。

7月7日未明、当院に「怒和島（忽那諸島）で親子3名が土砂災害により生き埋めになった」との救急情報が入りました。救急科医師2名が現地に向かいましたが、結果的には救命することができず無念のまま帰院することとなりました。その後も救急情報が入り、医療の災害対応が必要かとの判断に苦しみ、愛媛県災害対策本部（本部長：中村知事）が設置され、そして同時に医療救護活動を行うため、災害医療対策部も設置されました。



私は、県立中央病院災害医療センター長として、災害医療対策部長の任につき、医療救護活動に携わりました。まずは情報の収集が必要です。被災地域の医療施設から、刻々と変わる情報をリアルタイムに得ることは非常に難しく、断片的な情報を組み合わせることにより現地の状況を把握する作業を繰り返しました。その結果、停電や断水のため自家発電や備蓄

の水でかろうじて医療を継続する病院、また浸水や周辺道路の冠水により孤立してしまった病院の存在が明らかとなりました。水は2日程度で引き、ほとんどの病院は短期間で通常の診療に戻ることができましたが、南予地域には多数の避難所が開設され、多くの方々が避難所での生活を余儀なくされました。長期化が予想される避難所生活での二次的健康被害を予防するため、県内及び県外のDMAT（災害派遣医療チーム）が保健所を補佐する形で、避難所アセスメント（避難所の入所者数や運営状況等を評価）や、熱中症、感染症、エコノミー症候群、食品衛生の対策等を行いました。



DMAT：大規模災害時や事故等の被災地に迅速に駆けつけ、急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チーム

災害医療対策部は、地域の医療機関、保健所、市町をはじめとする関係機関と協働し、被災地の方々の健康を守る活動を行いました。今後も、このような事態が繰り返されないことを願うばかりですが、災害時には「オール愛媛」で災害対応に努めたいと考えております。

災害医療センター長
濱見 原

ドクターヘリ見学会が開催されました!!



ドクターヘリの見学会

今年度もドクターヘリの見学会が行われました。ドクターヘリを間近で見ることのできる貴重な機会ともあり、募集定員を上回る多くの応募がありました。普段見ることのできないドクターヘリ内部や中央病院屋上ヘリポートを目にし、お子様や保護者の方々はカメラを片手に大変興奮されていました。

また、ドクターヘリ概要説明会では、クイズ大会も行われ、ドクターヘリに対する理解を深めてもらいました。



ドクターヘリの運航状況等、詳細につきましては愛媛県医療対策課のホームページをご覧ください。

ドクターヘリについて

ドクターヘリとは、生体情報モニターや人工呼吸器など、救急医療に必要な医療機器等を搭載した救急医療専用のヘリコプターで、医師や看護師が搭乗します。

このドクターヘリにより、生命の危険がある患者さんに救急現場等で初期治療が始められるとともに、速やかに医療機関へ搬送することが可能となり、救命率の向上や後遺症の軽減などの効果が期待されます。



ドクターヘリは、県民の皆様の命を守るため、愛媛県の救急医療になくてはならない存在です。今後とも病院周辺にお住いの皆様におかれましては、騒音等でご迷惑をおかけしますが、ドクターヘリの運航につきまして、ご理解、ご協力をお願いします。

診療科紹介 消化器内科

消化・吸収・栄養に関する臓器の診断治療を行う診療科です。16名（H30.10.31現在）のスタッフで診療にあたっています（外来の担当等は当院ホームページをご覧ください）。消化器診療は肝臓、胆膵、消化管の主に3つの分野に分かれ専門的な治療を行っています。一般診療だけでなく、一般医療機関で診療の困難な重症、難治性疾患の診療にもあたり、積極的に新しい診断法、治療法を取り入れ、県民の皆様還元できるように努めています。



肝臓

【責任者】道堯浩二郎（副院長）、平岡淳（部長）

肝炎

急性・慢性肝炎、慢性肝不全等
・B型肝炎に対する抗ウイルス療法
・C型肝炎に対する（DAA）治療（内服薬によるC型肝炎治療）

肝癌

肝癌に対する集学的治療
・肝動脈化学塞栓療法（TACE）、ラジオ波焼灼療法（RFA）
・肝癌分子標的治療（進行肝癌に対する新しい抗癌剤の導入）

胆膵

【責任者】宮田英樹（消化器病副センター長・内視鏡室長）

胆道

総胆管結石、胆管炎、胆嚢結石、胆のう炎、胆のう癌、胆管癌など

膵臓

急性膵炎、慢性膵炎、膵癌など

胆管内視鏡関連手技

- ・胆道ドレナージ、膵管ステント
- ・術後腸管に対する ERCP（ダブルバルーン小腸内視鏡使用）
- 超音波内視鏡（EUS）関連手技
- ・EUS 下穿刺吸引細胞診、EUS 下ドレナージ（膿瘍・閉塞性黄疸）

消化管

【責任者】二宮朋之（消化器病センター長）、壺内栄治（主任部長）

上部（食道・胃・十二指腸）

食道癌、食道胃静脈瘤、胃潰瘍、胃癌、十二指腸潰瘍など

下部（小腸・大腸）

大腸ポリープ、大腸癌、腸閉塞など

内視鏡関連手技

- ・緊急上下部止血術、小腸内視鏡
- ・内視鏡的粘膜切除術（ESD）治療（食道、胃、大腸）
- ・ステント療法（食道・十二指腸・大腸等）

消化管（炎症性腸疾患）

【責任者】森健一郎（部長・IBD 室長）

炎症性腸疾患

クローン病、潰瘍性大腸炎、ペーチェット病等

炎症性腸疾患に対する抗体療法（炎症性腸疾患に対する新薬の導入）

食道癌ってどんな病気？

食道の病気は食事が通りにくい、食後にしみる感じや胸やけ等の症状が現れます。食道疾患の一つである食道癌について紹介します。

【食道癌の原因は？（遺伝するの？）】

食道癌自体は遺伝しませんがアルコールの代謝酵素が遺伝的に弱い方（飲酒後にすぐに顔が赤くなる方）が食道癌になりやすいと言われています。また、他の環境因子として喫煙、アルコール多飲、塩辛い食事や熱い食事等が関与しています。特に喫煙・飲酒は影響が多く、これらの方で上記の症状がある方は内視鏡検査を受けることをおすすめします。

【食道癌は転移しやすい？治療は？】

食道の壁は薄く早期から転移をきたしやすい病気です。早期のものなら内視鏡治療や手術治療、化学放射線療法で治療できますが、進行すると予後は極めて不良です。当院では進行した食道癌に対しての治療法も行っています（初回治療の方のみで適格基準があります）。食道癌と診断された方はご相談ください。

【食道癌の早期発見のためには】

先に述べたような症状の気がある方、生活習慣に不安のある方は、定期的な健診だけでなく、積極的に内視鏡検査を受けてください。

食道癌の治療

表在型食道癌（早期の食道癌で粘膜の浅いところまでの癌）

➡ 内視鏡治療（ESD）

表在型食道癌（早期の食道癌で粘膜の深いところや粘膜を超えた癌）

➡ 外科手術・化学放射線療法（抗癌剤と放射線療法）

進行食道癌（遠隔転移＜手術で取りきれない転移＞無し）

➡ 術前化学放射線療法（抗癌剤と放射線療法）＋外科手術

進行食道癌（遠隔転移＜手術で取りきれない転移＞あり）

➡ 全身化学療法（治療可能な場合もあります）・緩和医療

食道癌の治療は、上記が全てではなく、病期、転移部位、全身状態により異なります。

当院の
ドクターを
紹介します

ドクターズカルテ

眼科 小林 武史 先生

Doctor's Karte



▲外来の診察室



▲手術中の様子

平成 29 年 4 月より愛媛県立中央病院で眼科診療を行っております。専門分野は網膜硝子体疾患で、糖尿病網膜症や網膜剥離等の加療です。患者さんにご自身の疾患やその治療法についてご理解いただけるよう、丁寧な説明を心掛けております。

プライベートでは、昨年 12 月に長男が誕生しました。子育てに関わることができる時間は限られますが、日々成長していく息子の姿を見るのはとても楽しく、彼の将来への期待を禁じ得ません。息子から力をもらって、毎日の診療に努めております。

至らない部分も多々あるかと存じますが、精一杯努力して参りますので、どうかよろしくお願い致します。



当院の
研修医を
紹介します

1 年次研修医
堀内 美香先生

仕事以外での過ごし方は？

最近の好きなこと BEST5：①ピアノ：最近ではあの誰もが知っているマリオのテーマを弾けるようになりました。またショパン「幻想即興曲」にも挑戦中です。②料理：料理中は無心になれるし健康にも良いです。③カフェ巡り：松山はおしゃれなお店がたくさんあるので嬉しいです。④スリリングな体験：今年の春に茨城県にある日本一高い 100m 竜神大吊橋バンジーに挑戦しました。⑤バイク：半年ほど前に中型バイクの免許を取得しました。いつかマイバイクでツーリングを楽しみたいです。

自分の長所は何だと思いますか？

笑顔だと思います。最近も患者さんに「笑顔がいいね」と言っていたき、とても嬉しかったです。

今後の目標は何ですか？

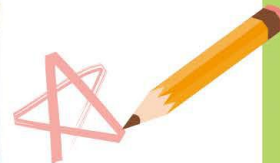
当院での 2 年間の研修で多くを学び、地元愛媛の医療に貢献できるよう今後も日々励んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。



▲竜神大吊橋バンジージャンプ体験



◀研修医勉強会
(胸腔穿刺の練習中)



病院の仕事 薬 剤 部

PET 検査に使用する
薬剤の製造と品質管理

入院前に服用しているお薬、
副作用、アレルギー等の確認

薬の適正使用に
向けての情報提供

患者さん向け
勉強会の開催

薬剤師の業務は、調剤業務、患者さんへのお薬の説明だけでなく、医療用麻薬の管理、薬に関する電子カルテの設定、抗生剤使用時の患者さんひとりひとりに合った投与設計、抗がん剤使用患者の投与量・スケジュールの確認等、様々な業務を行っています。
また、薬剤師としての立場でチーム医療に参加し、他の医療スタッフと共にラウンド・カンファレンスへ参加しています。

病棟業務

抗がん剤・
栄養剤の無菌調剤

平成 25 年から病棟業務を行っています。
服薬指導はもちろんのこと、薬の飲み忘れ・飲み間違いがないかの確認、副作用確認、持参薬から当院処方への切り替え確認、病棟配置薬管理、退院に向けての指導、病棟スタッフへの情報提供、看護師向けの勉強会の開催等を行っています。

現在はまだ数病棟のみの配置ですが、今後さらなる配置拡大に向けて準備しています。

平成 18 年から薬学部の 6 年制教育がスタートし、平成 24 年に 1 期生が卒業しました。
現在当院薬剤部も半数以上がその世代となり、若手の多い活気のある職場になっています。



薬剤部長

全ての医療スタッフと協力し、
患者さんも医療従事者も安心してお薬が使用できるよう
より一層頑張っていきたいと思います





医師転入・転出 (H30.8.31 ~ H30.10.1)

転入

所属	氏名	出身大学	卒業年度	専門
呼吸器内科	本間 義人	愛媛大学	H21年	臨床感染症、呼吸器全般
腎臓内科	垣尾 勇樹	大阪医科大学	H20年	腎疾患全般、血液浄化療法
小児科	地行 健二	愛媛大学	H28年	専攻医
放射線科	高岡 友紀子	徳島大学	H28年	専攻医

転出

所属	氏名
血液内科	櫻井 安紀
放射線科	川畑 加奈子
腎臓内科	瀧上 慶一
整形外科	長井 巖

えひめジョブチャレンジ U-15

当院では、県教育委員会が実施する「えひめジョブチャレンジ U-15」に参加し、中学生の職場体験学習を受け入れています。今年度はこれまでに、9つの中学校の生徒 48 名が職場体験に来てくれました。医師や看護師等の医療職の方々とは日頃の仕事内容について話をしたり、普段触れることのできない医療機器の操作などを行い、病院の仕事についての理解を深め、仕事としての魅力を感じてもらいました。

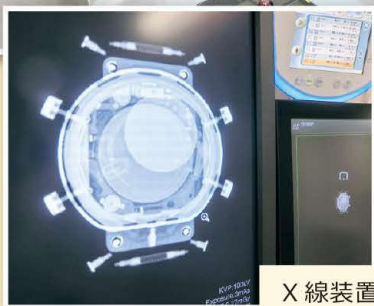
職場体験学習受け入れ実施中学校

- 伊予市立港南中学校
- 愛媛大学教育学部附属中学校
- 松山市立道後中学校
- 松山市立西中学校
- 松山市立津田中学校
- 松山市立垣生中学校

受け入れ予定中学校

- 松山市立興居島中学校
- 松山市立雄新中学校
- 松山市立湯山中学校
- 松山市立拓南中学校
- 松前町立北伊予中学校
- 松山市立南第二中学校

放射線部



X線装置を実際に動かし、腕時計の内部を見る実験を行いました。普段見ることのない世界に興味津々の様子でした。

リハビリテーション部



靱帯を損傷した患者さんのリハビリ活動の補助をしました。患部に負荷がかかり過ぎないように注意しなければなりません。

検査部



検査部では、顕微鏡を覗き、病原菌や細胞等を 500 倍の大きさで見ることができました。

ゆっくりと安心してくつろげる

レストラン フローラ

レストランフローラは、ご高齢のお客様を始め身体の不自由な方も安心してお過ごしいただけるよう、お料理は完全フルサービスでご提供しております。杖をご使用のお客様には、各テーブルに1脚ずつ杖掛け機能付きの椅子をご用意しており、カウンター席は車イスがそのまま入るよう高さ・奥行き等を考えて作られておりますので、こちらも是非ご利用ください。

メニューには、魚料理をメインとしたヘルシーランチ(2週間替り)や透析患者さんにご提供しているカリウム・塩分を控えて作ったお料理を、腎臓に優しい食事(数量限定)として一般のお客様にもご用意しております。

これからも食の安全はもちろんのこと、皆様がゆっくりと安心してご利用いただけるレストランを目指しスタッフ一同笑顔でお客様をお待ちしております。ご来院の際は是非お立ち寄りください。

レストラン フローラ 大立 由佳



店長 大立
フローラ係 奥田

▲診療棟2階(ファミリーマートの上)

ヘルシーランチ
700円



腎臓にやさしい食事
650円



【数量限定】
700kcal 以下
塩分 2~3g
カリウム 1,000mg 以下
で作っています。

◆人気メニュー BEST5 ◆

- ・朝食(和・洋) 480円
- ・豆腐すり身うどん 600円
- ・日替わりランチ 650円
- ・チャンポン 680円
- ・唐揚げ定食 680円

食べに
来てほしい
きん



【営業時間】

月～金 8:00～19:00 (オーダーストップ 18:30)
土 11:00～15:00 (オーダーストップ 14:30)
日・祝日 休業

「確認会話」のすすめ ～それって思い込みかも～

人はみな言葉を持っています。そして毎日言葉を交わしています。しかし、お互いに本当にその言葉の意味を共有しているかどうかは、確認しないとわかりません。

私たち医療者が説明していても、患者さんからは聞いていないと言われることがあります。日頃患者さんとお話をさせていただくと、同じ言葉であっても受け止め方が違うことがよく分かります。私たち医療者の「きっとわかるはず」は、間違いだと反省させられます。合併症の発生率でも1%は100人に1人という事ではありますが、一般の方からすれば、まさか「たった1%」に自分が入るはずはないと思われるのですよね。お互いの言葉というボタンの掛

け違いは、最初の説明から始まっているんだと思います。

患者さんをお願いします。医療者側からの説明については、「今、こう言われたのですよね。私の理解でいいですか」そんな言葉を返していただくと助かります。私たち医療者も、言葉は通じにくいんだという事を考えながら、寄り添った対話を心がけたいと思います。



医療安全
管理部だよ！
No.36

連携医療機関紹介 ～第11回～

医療法人慈孝会 福角病院

- 所在地 松山市福角町乙 69 番地 1
- TEL 089-979-5561 (代表) 089-978-7756 (地域連携室)
- FAX 089-978-7756 (地域連携室)
- 診療科目 内科・外科・神経内科・消化器外科・脳神経外科・形成外科・リハビリテーション科
- 病床数 114 床 (回復期リハビリ病棟 57 床・医療療養病棟 57 床)
- 外来診療時間 休診日 第一を除く土曜日・日曜日・祝日

	月	火	水	木	金	土	日
8:30～11:30	○	○	○	○	○	△	×
13:00～16:30	○	○	○	○	○	△	×

【法人の基本理念】「お年寄りに対する尊敬の気持ち」「やりがいのある職場づくり」「地域社会への貢献」

【病院の概要】回復期リハビリ病棟では、主に脳血管疾患や骨折などを発症された方にリハビリを提供しています。頻繁に本人・家族を交えたカンファレンスを行い、主治医・各担当職種より病状の説明やご相談の機会を設けています。リハビリ室は明るく広く、設備も充実しています。関連介護保険サービスも充実しており、施設入所や在宅介護サービスのご相談にも応じています。

住宅環境の調整・各種サービスのご案内・ケアマネジャーとの連携を行い、家庭生活への復帰をお手伝いします。

地元の新鮮な食材を仕入れ、当院自営調理スタッフによる季節感を感じていただけるこだわりの食事作りをしています。



国民健康保険 久万高原町立病院

- 所在地 上浮穴郡久万高原町久万 65
- TEL 0892-21-1120 ■FAX 0892-21-1121
- 診療科目 内科・外科・総合診療科・整形外科・心療内科・眼科・リハビリテーション科
- 病床数 77 床 (一般病棟 40 床・地域包括ケア病棟 7 床・療養病棟 30 床)
- 外来診療時間 土日祝休診 ※ただし急患の場合にはこの限りではありません。

	月	火	水	木	金	土	日
8:45～12:00	○	○	○	○	○	×	×
13:30～17:00	○	○	○	○	○	×	×

【病院の基本理念】地域に愛され、信頼される病院を目指します。

【病院の概要】当院は一般病棟 47 床・療養病棟 30 床のケアミックス型の病院です。小規模多機能型の病院ですが、急性期から療養期、二次救急医療からリハビリテーション、在宅医療まで幅広く行っており、「医療の原点」が集約されたような病院です。当院の常勤医師全員が定期的に在宅訪問診療や施設往診を行い、また訪問看護ステーションや診療所・老健施設との連携も図っています。「安心して生きる事・幸せに生活する事」に重きを置いた医療と福祉を心掛けていきます。

当院は久万高原町が運営する病院ですので、健康づくりなど行政が行う保健活動や福祉サービスに密接に関わりながら地域医療に取り組んでいます。地域イベントやサロン活動に参加しコミュニティケアにも力を入れ、地域に帰っても安心して生活できる町作りを目指しています。微力ながらも久万高原町の医療・福祉に貢献できるように日々努力を行っております。



当院は、平成 22 年 10 月 29 日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。

このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。

(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

